

苫小牧市福祉のまちづくり推進会議 議事録

■日 時：平成27年8月6日（木）午前10時00分から正午

■場 所：苫小牧市役所南庁舎4階会議室

■出席者：

<委員>

栗山 昌樹（議長）

伴辺 久子

高橋 信清

荻野 雅治

林 英二

登 光敏

川村 栄

曾田 昇

小林 裕子

<欠席者>

杉浦 佳子

渡辺 健治

浦本 隆夫

江尾 清

佐々木 匠

（敬称略）

<事務局>

山田障がい福祉課長

小林主査

三澤主事

佐柄主事

<インターンシップ研修生>

鈴木 遼

■議 事：

- （1）苫小牧市福祉のまちづくり推進計画進捗状況について
- （2）バリアフリー化事業実施について
- （3）福祉のまちづくり推進事業について
- （4）その他

■議事要旨：次項以降に掲載

■議事（１） 苫小牧市福祉のまちづくり推進計画進捗状況について

- 福祉のまちづくり推進計画の各施策について、平成26年度実施事業と平成27年度に予定している事業を報告しました。
- 全般的にこれまでの施策を継続的に取り組んでいます。
- 計画体系ごとの施策のうち、とくに取組が拡充されているものを中心に以下のものについて全体確認しました。

施策体系	施策	取組の方向性	平成27年度 予定事業	担当課
【権利擁護】	虐待の疑いがある旨の相談、通報等に対して適切に対応するとともに、障がい者、高齢者等を養護すべき者が虐待に向かうことを防止するために必要な支援を行います。	拡充	主査を1人増員し、児童虐待対応体制を強化する。	こども支援課
【生活環境の安全・安心】	障がいのある方もない方もともに利用できる、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めます。	拡充	「苫小牧市駅前広場再整備基本計画」及び「苫小牧市バリアフリー基本構想」の策定	まちづくり推進課
【生活環境の安全・安心】	公共交通機関を利用することが困難な重度の障がいがある方の移動手段の確保に努めます。	拡充	(1) 福祉ハイヤー助成制度 (2) 重度障害者タクシー料金助成制度 (3) 重度心身障害者通院交通費助成	障がい福祉課

質問・意見 (※事務局回答には、後日詳細を確認した内容を含んでいます)

■ 「苫小牧市駅前広場再整備基本計画」及び「苫小牧市バリアフリー基本構想」の策定（まちづくり推進課担当）について。ここでいう「バリアフリー基本構想」とはどういったものでしょうか。また、駅前の範囲はどこまでですか。《伴辺委員》
《事務局》まず、苫小牧市駅前広場再整備計画についてご説明します。駅前においては、南口、北口ともに商業施設の撤退、閉鎖により中心市街地の衰退に対して解決策が必要とされている一方、高齢者複合施設やCOCOTOMA（まちなか交流センター）の開設など明るい兆しも見えてきています。各方面から駅前における利便性向上や賑わいの創

出等について意見等が出されているなか、これらの課題に対し、魅力ある中心市街地のまちづくりを再構築するため、苫小牧駅前広場がまちのシンボルとなるよう再整備計画を策定するものです。

バリアフリー基本構想はバリアフリー新法に基づき策定するもので、基本構想では、苫小牧駅を中心とした範囲を重点整備地区とし、周辺的生活関連経路や施設を一体的・重点的に連続性のあるバリアフリー化を行います。JR 苫小牧駅を中心として徒歩圏の概ね半径500m～1km まで（駅南だと市役所くらいまで）の範囲の中で、病院や官公庁施設などの生活関連施設を選定し、それらの施設相互のネットワーク化を図る主要な経路を判断し、整備エリアを定めています。

■「苫小牧市駅前広場再整備基本計画」（まちづくり推進課担当）について

- ・駅前広場再整備ということですが、JR 側からの関与はあるのでしょうか。《小林委員》
- ・駅前バスターミナルについて、トイレがないこと、ベンチのみでは雨風が防げないことが不便に思います。冬に向けて整備が必要だと思うのですが、何か措置はありますか。《高橋委員》

《事務局》まず、JR 側からの関与の有無についてです。こちらの計画は、駅前広場再整備計画等策定協議会が主導となって取り組みを進めており、協議会委員の中に JR 北海道（北海道旅客鉄道株）のほか、道南バス株などの公共交通事業関係者が含まれています。協議会および部会での協議を行いながら、まち歩きワークショップの開催やパブリックコメントにより市民の声を反映させながら、今年度中の基本構想策定を目指しています。

また、駅前バスターミナルについては、札幌市街によくあるような屋根付バス停のようにできれば良いのですが、ターミナルのレイアウト自体を検討している段階で、待合室については定まっていないと思われます。しかし、市民の要望等は市役所を通じて伝えることは可能です。推進会議でもご意見いただければ、担当課へ伝えたいと思います。

■「重度心身障害者通院交通費助成」（障がい福祉課担当）について

- ・対象者の要件とその周知方法について教えてください。《林委員》
- ・自立支援医療には、更生医療・育成医療のほかに精神通院がありますが、そちらは対象にならないのでしょうか？《荻野委員》

《事務局》

－重度心身障害者通院交通費助成制度の要件－

- ・対象年度の8月1日現在における、重度心身障害者医療費助成制度（マル障）の受給資格者であること。
- ・高額治療継続者（重度かつ継続）に該当する育成医療・更生医療の受給者で、レセプトを通じて、同一医療機関に月10回以上の通院が確認できること。
- ・障がいを理由として自動車税・軽自動車税の減免が認められていること。

現段階の要件では、自立支援医療の育成医療と更生医療のみとしており、精神通院は含んでいません。

当事業は、これまでの公共交通機関の利用支援事業（市内路線バス・タクシー・リ福祉ハイヤー）との選択制で、障がいの治療のために同一医療機関へ定期的かつ長期的に通院しなければならない方を対象に、通院分と想定される交通費（自家用車用ガソリン代）について助成するというものです。要件を満たした年度につき、タクシー・福祉ハイヤーのようなチケット形式ではなく、口座振込の方法で年額9,000円を助成します。

周知方法についてですが、今年度は自立支援医療（更生医療）の年度更新案内送付時に本制度の案内を同封したほか、重度障害者タクシー・福祉ハイヤー助成券交付者への年度更新送付時に切り替えの案内を同封しました。また、身体障害者手帳交付時に該当がありそうな場合は、他の制度説明とともに案内を渡して説明しております。

■議事（2） バリアフリー化事業実施について

○市内施設等のバリアフリー化事業の取り組み状況と、実施箇所や新しい施設について報告しました。（平成26・27年の取り組み状況：下表参照）

年度	施設の名称	整備内容
H26	住吉コミュニティセンター	トイレの洋式化2箇所
	リサイクルプラザ苫小牧	トイレの洋式化2箇所
	中央図書館	トイレの洋式化1箇所
	美術博物館	トイレの洋式化1箇所
H27 (予定)	高丘霊葬場	和室待合室2室の改修工事
		玄関ホール・通路等施設内手すり設置
		トイレの洋式化3箇所

○障がい福祉課として予算措置をしているもののほか、原課で改修工事等の整備に取り組み、市内全体のバリアフリー化を進めています。

○苫小牧市福祉のまちづくり条例適合証の交付状況について報告しました。

(平成26・27年度交付施設抜粋：下表参照)

認定番号	認定年度	施設の名称	認定年月日	適合基準
104	H26	明野6号公園便所	H26.9.26	基礎的基準
105	H26	新富1丁目公園便所	H26.9.26	基礎的基準
106	H26	新ときわスケートセンター	H26.10.3	基礎的基準
107	H26	社会福祉法人ふれんど 高齢者複合施設 (まちなか交流センターCOCOTOMA 部分)	H26.10.27	基礎的基準
108	H26	錦岡西1号公園便所	H26.12.5	基礎的基準
109	H26	苫小牧市保健センター	H27.2.27	誘導的基準
110	H27	マックスバリュ苫小牧弥生店	H27.7.31	基礎的基準

○平成27年度7月末現在110施設に交付しており、このうち「基礎的基準」が100施設、より質の高い「誘導的基準」が10施設となっております。

○公共施設は80施設、民間施設は30施設となっております。

○適合証マップは現在、市内コミュニティセンターや市立病院、心身障害者福祉センターなどの公共施設10施設に配布しており、市民への周知活動を進めています。なお、適合証マップは毎年度更新予定です。

○適合証が交付された施設は、広報とまこまいにてお知らせしています。

質問・意見

■適合証交付施設一覧を見ると公園便所が多く、病院等の交付施設と公園便所が同じと適合証のマークということに違和感があります。適合証をもっと効果的に周知する方法はないのでしょうか。また、新たに建設するうえで基準に適合させるために何か働きかけているのでしょうか。《荻野委員》

《事務局》広報掲載や公共施設へのマップ配布等により適合証の周知を図っているもののなかなか情報が行き届いていないのが現状です。また、適合証が交付されることによるメリットがあまりないので、適合していても交付申請しない施設もあります。過去の会議の中で、基準をもう少し下げるなど適合しやすくしてはどうか？という意見もありましたが、現在基準について見直しを検討中です。適合証のアピール度や意味合いを考慮しつつ検討したいと考えています。

■議事（3） 福祉のまちづくり推進事業について

- 「福祉のまちづくり」を根本から見直し、日常生活の中で皆さんが感じていることや考えていることから必要な施策を見出していくため、委員の皆様ブレインストーミングを実践していただくこととしております。
- ブレインストーミングの手順として「現状」→「課題」→「解決策」のステップで考えており、福祉のまちづくりについて方向性を議論していきます。
- 前回会議（平成26年3月17日開催）では、ブレインストーミング第1回「現状」について、2班に分かれてふせん紙に意見を書き、模造紙に貼り付ける作業をしていただきました。
- 前回会議の模造紙を生かしたまま、再度2班に分かれて意見を出していただき、情報共有の時間をとりました。
- その後、お出しいただいた意見の中から課題を把握するために、内容の近いものを集め、テーマごとにふせん紙を「分類」していただきました。

ブレインストーミング写真



■議事（４） その他

○福祉のまちづくり推進委員選出について

- ・澤出安男委員の辞任（平成27年6月30日付）に伴い、苫小牧市小学校長会より新しく登光敏委員（苫小牧市立拓勇小学校校長）を御推薦いただきました。委嘱期間は前任者辞任日以降の残任期間とし、平成28年5月22日までとなっております。

○「苫小牧市福祉のまちづくり表彰」について

- ・福祉のまちづくり表彰は、苫小牧市社会福祉表彰の一つとして条例の趣旨に合った福祉のまちづくりの模範となる者、またはその功績のあった者について、個人や団体に対して表彰することとしています。
- ・平成26年度福祉のまちづくり表彰（平成27年2月6日表彰）は、「王子総合病院ボランティア わかくさ会」様を表彰させていただきました。
- ・平成27年度福祉のまちづくり表彰候補者について、推進委員の皆様より御推薦があれば年内受付予定です。事務局まで御連絡をお願いいたします。

○今後の会議日程について

- ・平成27年度福祉のまちづくり推進会議についてですが、全3回の開催を予定しており、年内に第2回会議を開催させていただきたいと考えております。推進委員の皆様にご案内させていただきますので、御出席よろしくをお願いいたします。

以上